

No.99 会社訪問

代表取締役
社長

田沼 克之 氏



株式会社AMU冷熱

会社プロフィール

代 表 者：代表取締役社長 田沼 克之

所 在 地：〒343-0827 埼玉県越谷市川柳町4-194-2

T E L：048-988-1130

F A X：048-988-1248

設 立：2005年12月

資 本 金：10,000,000円

事業内容：液体・空気の冷却、加熱システムの製造および販売

U R L：<http://www.amux.co.jp/><http://www.amux.jp/>（最新チラー用ホームページ）

聞き手：南 明則（広報副委員長） 岡田康弘（事務局長） 取材・撮影・編集：クリエイティブ・レイ(株)

汎用品からオーダーメイドまで手掛ける
冷却水循環装置専門メーカー

— まずは、御社の主な事業内容、主力製品などを教えていただけますか。

弊社は、主に冷却水循環装置（チラー）を専門に扱っている製造メーカーです。冷却水循環装置の技術を活用して、恒温水槽や恒温器などの理化学分野の装置も製造することが可能なのですが、弊社では冷却水循環装置を主力商品として取り扱っています。冷却水循環装置の分野で他のメーカーさんにはない技術面で特化した製品づくりを目指し、製造、販売を行っています。

弊社の冷却水循環装置は大手企業の製造現場などに納入した実績があります。冷却水循環装置は半導体の製造現場はもちろんのこと、カメラのレンズの洗浄、電子顕微鏡のプレート、金型の冷却、X線の解析装置、レーザーを使っている装置においてはレーザーを冷やす際には、必ずと言っていいほど使用しますし、私どもが把握しきれないほど多種多様なものづくりの現場で広く使用されています。

また、大学の研究室などから研究に応じた機器のご要望があれば、リクエストに応じた製品のご提案なども行っています。

— 社名のAMUには、どのような意味があるのでしょうか？

社名であるAMU冷熱の「AMU」は私がネット上で名乗っているハンドルネーム「AMU（アム）」から取りました。実は昔から楽曲づくりが好きで、大学卒業後は音楽業界への就職も考えていたこともありました。現在は趣味の一環として「打ち込み系」と呼ばれるプロ仕様の楽曲制作に関するウェブサイトを個人的に開設しています。そこで使用しているハンドルネームが「AMU」なのです。ちなみに「AMU」に特別な意味はありません（笑）。

— 創業の経緯などをお聞かせください。

もともと前身のサンワシステムの社長とは結婚式の披露宴でたまたま隣の座席だったのが縁で知り合いました。ちょうどその頃、私自身が今後の身の振り方を考えていた時期だったこともあり、背中を押してもらう形でサンワシステムに入社致しました。入社後、会社の一部門として冷却水循環装置の部門が立ち上がったことがきっかけで、冷却水循環装置に携わるこ

経営資料

となり、その後、約2年後に独立し、AMU 冷熱を設立しました。

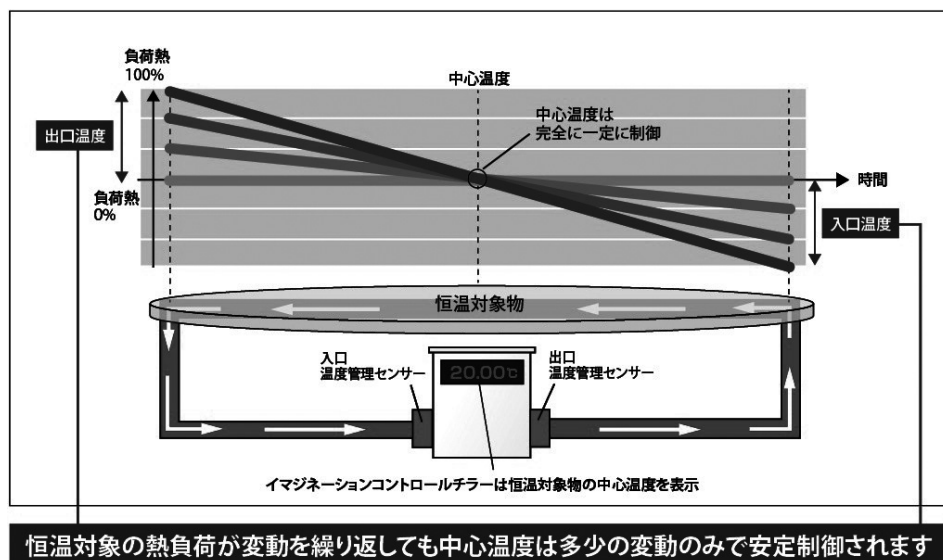
話は少し逸れるかもしれませんが、いろいろなものが進歩している中で、もっとも進歩が遅れているのが冷却水循環装置ではないかと個人的には思っています。そこを私は業界的になんとしても改革していきたいと思っています。冷却水循環装置というのは文字通り、水を送る装置です。そして、その水を一定の温度で送り出すということが主な役割です。お客様は持っている装置を冷却したいから冷却水循環装置をお求めになるのですが、お客様がやりたいことは、ある部分を一定の温度に保ちたいことで、一定の温度の水を送ってほしいということではありません。その部分は発熱するときもあれば、発熱しない時もあるわけですから。発熱している時に 20℃の水を送ったとしても、ここは発熱した分だけ温度が上がりますが、その代わりに発熱を下げてしまえば、冷やされてしまうわけです。しかしながら、実験などでは、この部分は温度を一定にしておく必要性も出てくるわけです。残念ながら、今まで世界中どこを探してもそういった要望に応える装置は存在しなかったのですが、今年に入って、その要望に応える世界初となる装置の開発に弊社が成功しました。これから、その装置を引っさげ、市場に打って出ようと意気込んでいるところです。その装置の最大の特長は、発熱元が動くと即座

に反応して、送り出される水の温度が上下することで、温度が常に一定に保つことが可能です。装置の温度を一定にキープしたいというお客様のニーズにお応えする画期的なものです。温度が一定に保たれた水が出てくることによって製造の現場で劇的な不良率の低下が期待できます。この製品ではその点を大いにアピールしてセールスにつなげていきたいですね。実は、すでにトヨタ様でセルの試験に用いるチラーとして導入していただいております。おかげさまで性能に関しても高い評価をいただいております。別の試験機用のチラーとしても発注していただきました。

JASIS の展示会では実際に製品を体感いただくことも計画しています。パンフレットについても現在制作中でして、展示会までに完成するよう進行しています。

ちなみに、弊社の冷却水循環装置で用いられている技術について、特許の取得は今のところ考えていません。なぜなら、弊社の技術はそう簡単に真似できるようなものではないという自負もありますし、すでに、これに続く装置の構想もあります。まずは、この装置によって AMU 冷熱として市場での認知度を上げ、しっかりとした会社 に築きあげるからこそ、第一だと考えています。

AMU冷熱独自の冷却水循環装置のメカニズム





AMU冷熱で扱っている冷却水循環装置のカタログ標準品

— これまでに経営者として強く印象に残った出来事などがあれば、お聞かせください。

創業当初は、主に大学の研究室などの要望に応じてオーダーメイドで装置を納入していました。しかし、もともとメーカーを立ち上げたいという野望を持っていましたので、創業して3年あたりからカタログ標準品をメインに取り扱うようにシフトしていきました。とはいえ、他社との差を性能面、価格面でなかなか明確に示すことができず、製品を切り替えてもらうのに苦労しましたが、一度弊社の製品に切り替えると、トラブルがほとんど発生しないため、お客様からはその点を高く評価していただき、信頼を得られるようになっていきました。

— 現在の課題や今後の事業目標などをお聞かせください。

カタログ標準品をメインに扱い始めたころに比べると、だいぶ前進しましたが、まったく手を加えない状態のカタログ標準品の売上げがなかなか伸びないことが現在の課題ですね。

とにかく今はカタログ標準品を販売していくメーカーとしての立場を確立していくことを一番の目標に掲げています。

— 田沼社長にとっての座右の銘や、人生で影響を受けた人物などがいましたら、教えてください。

今までこういうことを意識したことはありませんでした(笑)。強いて挙げるとするならば、孫正義さんの口から発せられる言葉には納得させられることが多いですね。以前、「7人揃えば会社は大きくなる」というフレーズを雑誌の記事で目にしたことがありました。優れた部下が7人いたおかげで現在のソフトバンクの発展の基礎となっているという経験則に基づいた人材の大切さをおっしゃっていて、非常にその言葉に共感をおぼえました。会社は人材あつてのものです。弊社は世界に先駆けた技術を提供していくメーカーをめざす以上、優秀な人材を育成していくためには十分にお金をかけて成長につなげていきたいと思っています。

— 当協会に対するご意見やご要望がありましたら、一言お願いいたします。

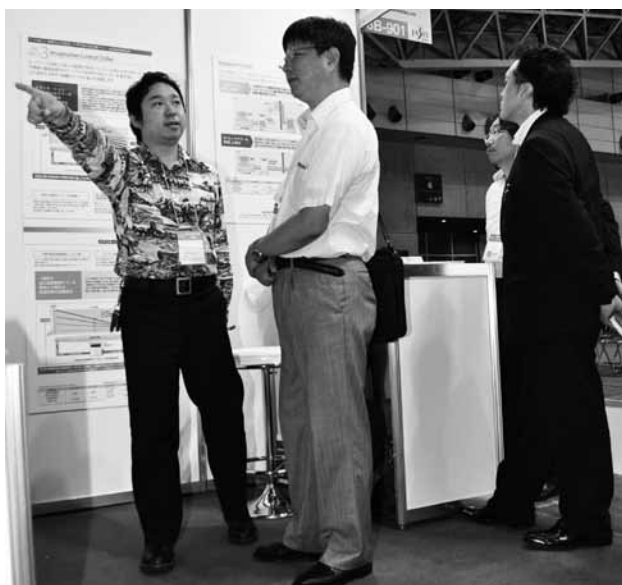
協会には業界の情報をいち早く教えていただくなど、弊社の成長につながるサポートをしていただけるとうれしいですね。

〈初めての JASIS を終えて〉

今回の JASIS 展示会における、お客様の反応は弊社にとって非常に興味深いものでした。

展示ブースでは、弊社の新製品「イメージーションコントロールチラー」の運転を実際に行いながら、製品の説明をさせていただきました。ありがたいことに多くのお客様から「信じられない」といった驚きのお言葉を頂戴いたしました。「イメージーションコントロールチラー」の特長である、演算によって表示された仮想中心温度と実際にセンサーで測定表示している温度が完全に一致しているところや、すばやく恒温対象物の中心温度を恒温保持し、負荷熱の変動を 100% にしても温度が 0.3℃ しか変動しない優れた安定性をお客様に体感していただきました。

半導体製造装置用チラーの販売やレーザー装置の販売を行っておられる企業の皆様にとって、新しい装置の開発に「イメージーションコントロールチラー」が必要不可欠であることをご理解いただけましたし、導入に向けぜひ検討したい、といったお言葉もいただくことができました。



JASISの展示ブースで製品の説明をする田沼社長

ハンドメイドにこだわった革製品のオリジナルブランドを立ち上げる

もはや趣味の域を超えてしまっているかもしれませんが、日本の革製品における技術力に惚れ込み、「T's FACTORY」という革製品のブランドを立ち上げました。私が師匠と崇める職人の方の技術に惚れ込み、弟子入りして財布などの革製品の製造を学びました。私の師匠は誰もが聞いたことがある高級ブランドのバッグも手掛ける名匠なんです。『T's FACTORY』では日本のタンナー（革をなめす職人）による最高級のレザーを使用し、財布のフチのステッチなどもミシンを使わずに手縫いで行うなど、一生ものと呼べる革製品を一点一点ハンドメイドで製作しています。『T's FACTORY』の製品は東京・代官山のアメリカンカジュアルを取り扱うショップ「JELADO（ジェラード）」などで販売されています。冷却水循環装置とともに革製品を通して、日本のものづくりのすばらしさを発信していきたいですね。



田沼社長の手から一点一点生み出されるこだわりの革製品